

平成27年10月吉日

社員 各位

一般社団法人 全国軽費老人ホーム協議会
理事長 川西 基雄

平成27年度 全国軽費老人ホーム協議会 「全国職員研究会議(東京大会)」の開催について

謹啓 平素より本会事業の推進に格別のご理解とご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。また、各地域で軽費・ケアハウス関係者が先駆的な生活支援、地域活動を実践されている事に心より敬意を表します。

さて、標記の件につきまして、以下の通り、職員実践発表並びに講演会を全国職員研究会議と銘打って東京にて開催させていただき運びとなりました。

本年も、地域包括ケアにおける軽費のあり方を念頭に各ブロックにより地域視点で取組んだ実践発表と、社会福祉法人が地域創生、地域包括の切り口で新時代に向けて取り組むフロントランナーであられる社会福祉法人佛子園、雄谷良成理事長の講演、また学識者から老年学の権威であられる、桜美林大学大学院老年学、長田久雄教授より、講演をいただける予定となっております。公務ご多忙の折とは存じますが、貴重な研究会議の機会ですので、万障お繰り合わせの上、何卒会員施設関係者の皆様お誘いあわせの上、多数ご参加を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

謹白

記

1. 日 時：平成 27 年 11 月 26 日(木)・27 日(金)

(1日目) 午後13時00分 ~ 【受付】
午後13時30分 ~ 17時00分 「全国 8 ブロック代表の実践発表」
(*午後17時30分 ~ 19時30分「情報交換会」)

(2日目) 午前 8時30分 ~ 【受付】
午前 9時00分 ~ 12時30分 「講演 I・講演 II・審査結果発表」

2. 会 場：TOC有明コンベンションホール (定員 150 名)
住所：〒135-0063 東京都江東区有明 3 丁目 5 番 7 号
電話：03-3494-2177(株)テーオーシー催事事業部
<http://www.toc-ariake.jp/conv.html>

3. 参加申込み送付先
「参加申込書」は FAX にて、下記記載の申込先にご返信ください。

4. 参加申込締切：平成 26 年 11 月 5 日 (必着)

●申込先

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル ロビー階
名鉄観光サービス株式会社 新霞が関支店

FAX 03-3595-1119

担当 岸浪・下枝 営業時間 9:30~17:30 ※土・日・祝日休業日

平成27年度 全国軽費老人ホーム協議会「全国職員研究会議(東京大会)」の開催について

テーマ：

「生活支援を基盤にした利用者主体のソーシャルワーク・モデル」構築に向けて

～キーワード：エンパワメント、ストレングス視点、アウトリーチ等のソーシャルワークによる支援、地域貢献～

1 趣旨：

軽費老人ホームは、介護保険制度の施行、事務費一般財源化等の社会経済の変化や入居者の高齢化、重度化を背景に「生活支援」「生活支援機能」という観点で取り組みを行ってきた。

近年、厚労省・国交省両省主管の「サ高住」整備推進の流れとの差別化の観点から地域包括ケアシステムにおける軽費あり方が問われている。

軽費が有する多様な機能を活かした支援が重要な意義をもつことが見出され、その機能はソーシャルワークを活用した支援と考えられ、軽費におけるソーシャルワークのあり方の検討が求められている。

超高齢社会の進展に伴い、介護ニーズが急増する一方で、虐待(DV)、セルフネグレクト、孤立、閉じこもり、社会的排除、生活困窮(低所得を含む)認知症、精神疾患、その他多様な生活課題を抱える高齢者問題、また都市部を中心に在宅生活が困難な低所得者の住まいの確保問題も今後の大きな社会問題化すると想定されている。

軽費老人ホームにおいて上記の社会的ニーズに対応する形での入居が増加傾向にあります。住まい提供、生活支援に加え、より専門的な対応が求められる。そういうニーズは入所前対応(アウトリーチ)や緊急対応(クライシスインターベンション)が必要であったり、地域アセスメント、専門性の高いソーシャルワーク的支援が求められる。

独居、孤立の問題から保証人問題や施設の入退所基準の明確化や医療同意や司法的判断の課題も出て来ている。軽費老人ホームが行ってきた施設、職員、利用者の力を活かした機能や能力開発を可視化、専門化して地域包括ケアシステムの中で新しいソーシャルワークモデルとして開発し、中核機能を果たす機関として提案していきたい。

生活支援を基盤とした地域住民としての利用者主体のソーシャルワークモデル(ストレングス視点、エンパワメント、アウトリーチ等の学びを強化した研修モデル)を提案、開発し、それぞれの地域性を意識しつつ、入居前からの過程を通して検討することを目的とし、その為の条件整備、提案を検討し、研修プログラム(①基礎研修、②専門研修、③応用研修)案を今後提案していきたいと平成26年度老人保健健康増進等事業を通して人材育成をし、軽費老人ホームの機能強化が必要と考えている。

2. 主催：一般社団法人 全国軽費老人ホーム協議会

3. 期日及び日程：

●11月26日(木) 1日目

13:00～13:30 受付(合同セミナー)

13:30～13:40 開会挨拶

(一般社団)全国軽費老人ホーム協議会 理事長 川西 基雄

13:40 ~ 13:55 情勢報告
13:55 ~ 14:40 職員研究会議趣旨説明
14:00 ~ 15:00 前半3ブロック代表 実践発表(各 20 分)
15:00 ~ 15:10 休 憩
15:10 ~ 16:50 後半5ブロック代表 実践発表(各 20 分)
16:50 ~ 17:00 閉会挨拶
17:30 ~ 19:00 情報交換会 (参加人数:80 ~ 100名程度)

◆審査委員長:雄谷 良成 氏(社会福祉法人 佛子園 理事長)

◆審査委員:小山 順子 氏・里山 樹 氏・西 秀生 氏・三輪 尚士

●11月27日(金) 2日目

8:30 ~ 9:00 受 付 (全軽協全国ブロック実践発表大会)

9:00 ~ 9:05 開会挨拶
全国軽費老人ホーム協議会 理事長 川西 基雄

9:05 ~ 10:20 講 演 I
「地域創生、コミュニティ再生における社会福祉法人のあり方(仮題)」
講 師: 社会福祉法人 佛子園
理事長 雄 谷 良 成 氏

10:20 ~ 10:30 休 憩

10:30 ~ 11:45 講 演 II
「老年学の視点から考える地域包括ケア時代の施設の役割(仮題)」
講 師: 桜美林大学大学院老年学
教 授 長 田 久 雄 氏

11:45 ~ 12:25 実践発表結果発表 講評 授与式

12:25 ~ 12:30 閉会挨拶

4. 参加対象者: 全国軽費老人ホーム協議会 会員施設の役職員全て

(*非会員の場合でも、会員施設の推薦であれば参加可能です)

5. 参 加 費: 講 演 参 加 費 ￥ 10,000円 (非会員: ￥12,000円)

情 報 交 換 会 ￥ 7,000円 (非会員: ￥ 7,000円)

講演・情報交換会共に参加 ￥ 17,000円 (非会員: ￥19,000円)

*参加費用等は後日、申込先より費用明細を送付させていただきますので、指定の期日までにお振込頂きますようお願い致します。